

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北本市												
計画の目標	下水道未整備地区について下水道整備の促進に努める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	456	A	456	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	下水道の累計整備面積を611.81ha (R2) から668.67ha (R6) に増加させる。 本整備計画における下水道の整備率 本整備計画の期間内に面整備を完了した区域の面積 (ha) / 本整備計画の期間内に整備を行う面積 (56.86ha)	0%	24%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名 /	事業実施期間 (年度)					全体事業費	費用	個別施設計画	
		種別	種別	対象	間接				(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名	R02	R03	R04	R05	R06	(百万円)	便益比		策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北本市	直接	北本市	管渠 (新設	污水管きよ整備 桶川第1	L=3,083m 舗装本復旧工 L=	北本市	■	■	■	■	■	456		—	
											小計						456			
											合計						456			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

北本市下水道事業審議会において、事業評価を実施。

事後評価の実施時期

令和7年12月

公表の方法

市のホームページへ掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

下水道整備面積を611.81ha（令和2年度当初）から632.75ha（令和6年度末）に広げたことで、汚水処理環境の改善が図られた。

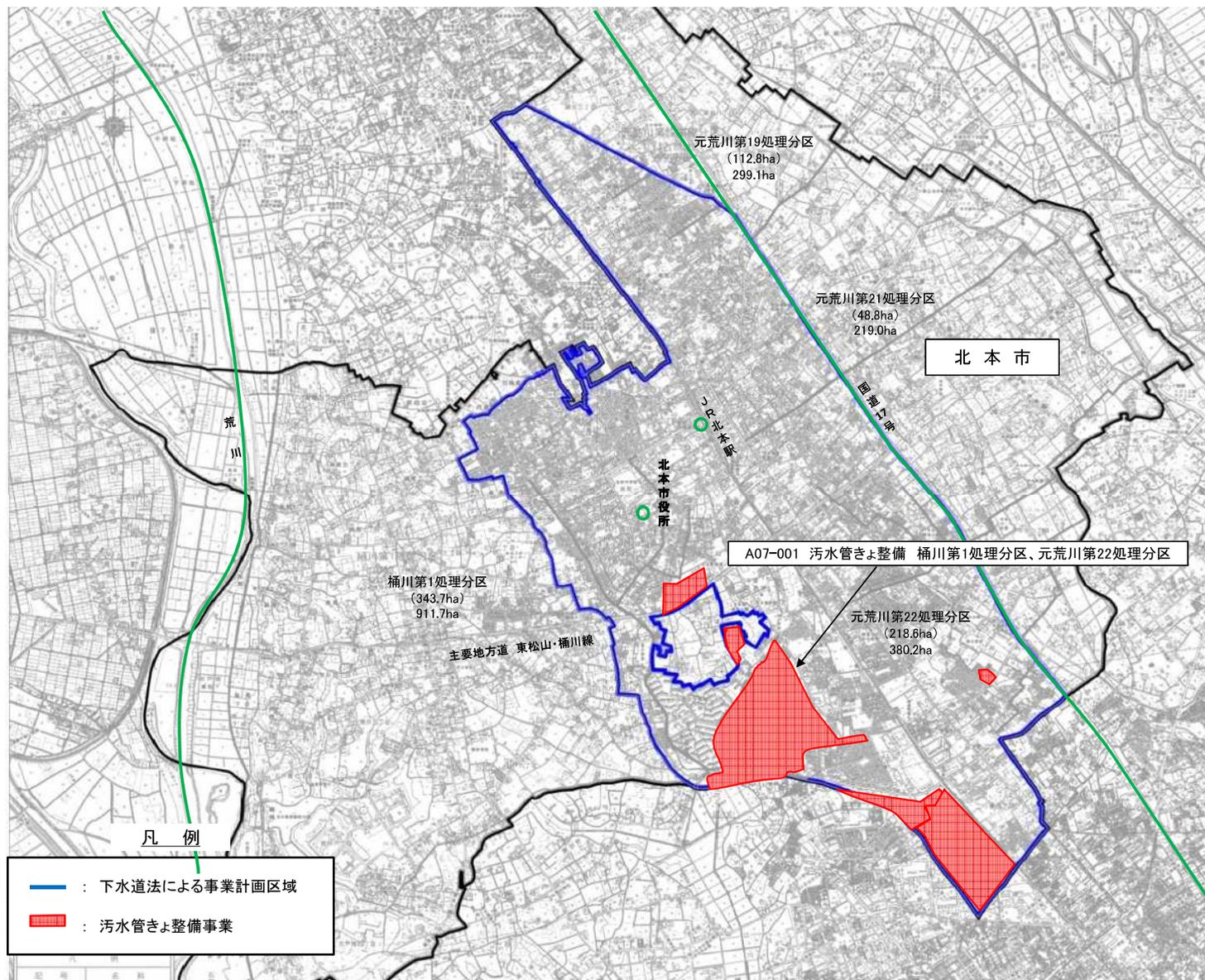
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

令和2年度当初から令和6年度末の5年間社会資本総合整備計画に基づく汚水管きょ整備事業を行った結果、下水道整備率について、実績値が目標値を下回っている。次期計画（令和7年度から令和11年度）において、他事業（土地区画整理事業）との調整を行い、公衆衛生の向上や河川等の水質保全を図るため、公共下水道の整備を引き続き行う。

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (重点計画)

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020 (重点計画)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	北本市



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	北本市												
計画の目標	下水道整備を行うことで、安心して安全な災害に強いまちを創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	440	A	440	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	汚水管きよの耐震対策工事等による耐震化実施済延長を25.7km(R2)から37.9km(R6)に増加させる。 汚水管きよの耐震化実施率 本整備計画の期間内に耐震対策を実施した管きよの延長(km)／本整備計画において耐震対策を実施する管きよの延長(12.2km)	0%	38%	100%
2	都市浸水対策整備面積を44.6ha(R2)から47.7ha(R6)に増加させる。 下水道による都市浸水対策整備面積率 本整備計画の期間内に都市浸水対策整備を完了した面積(ha)／本整備計画において都市浸水対策整備を行う面積(3.1ha)	0%	71%	100%
3	内水浸水リスクの解消。 内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップ作成面積率 本整備計画の期間内に内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップを作成した面積(ha)／本整備計画の期間内に内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップを作成する面積(1810ha)	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>北本市下水道事業審議会にて事後評価を実施。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和7年12月</p>	
	<p>公表の方法</p> <p>市のホームページへ掲載</p>	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水管きよの耐震対策工事による耐震化実施延長4.3kmを増加した。 ・梅沢雨水幹線整備事業について、都市浸水対策整備面積1.4haを行ったが、勝林雨水3号幹線整備事業について、他事業（土地区画整理事業）との調整のため、進捗がなかった。 ・北本市域1810haの内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップを作成した。 	
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>		

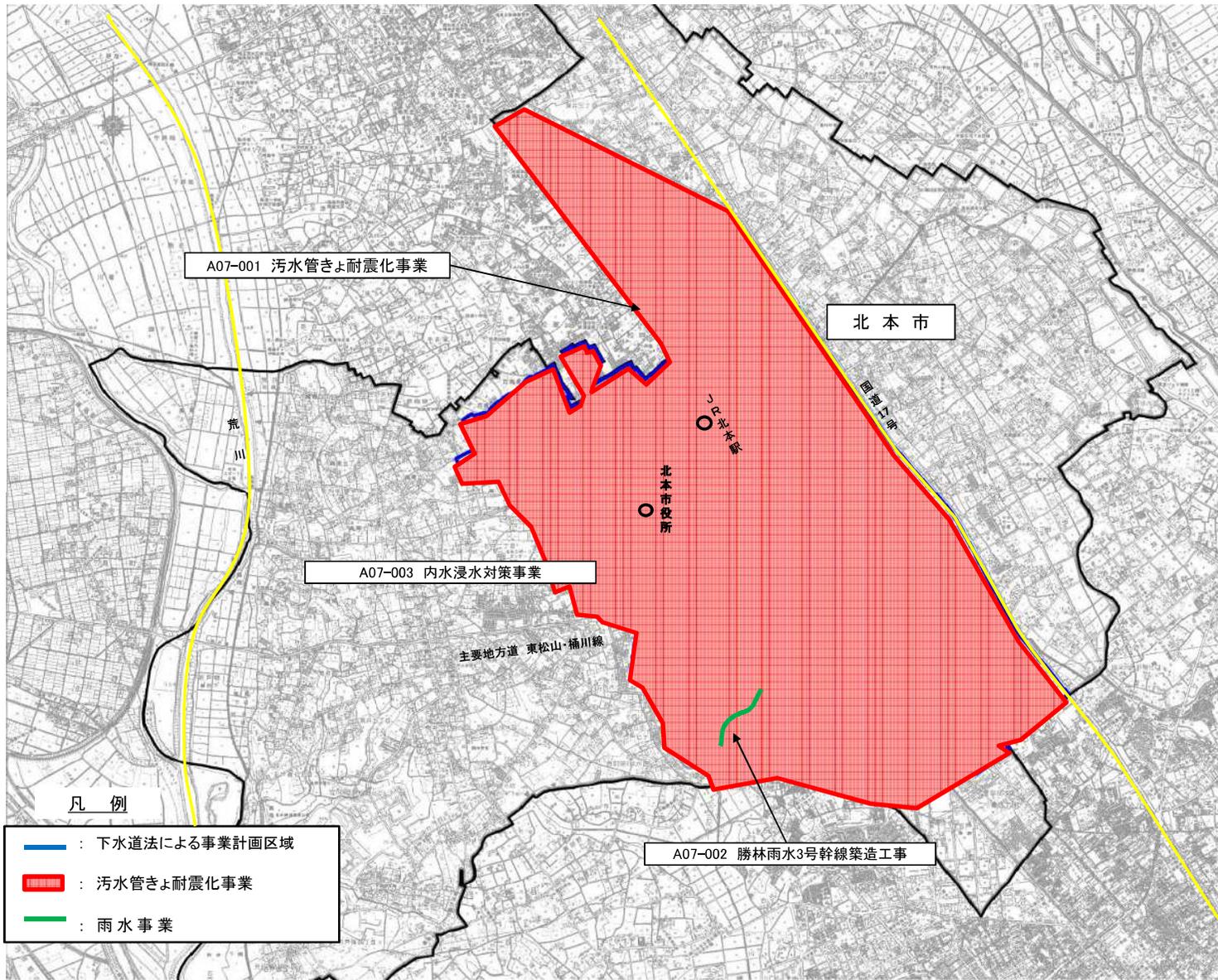
○特記事項（今後の方針等）

<p>本計画において、目標値を達成されなかった部分におかれまして、次期社会資本総合整備計画（令和7年度から令和11年度）に引き続き、対策整備を進める。</p>

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	汚水管きよの耐震化実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	35%
財源の確保が困難であったため、実績値が目標値を下回る結果となった。		
2	下水道による都市浸水対策整備面積率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	45%
他事業（土地区画整理事業）との調整のため、遅れが生じ、実績値が目標値を下回る結果となった。		
3	内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップ作成面積率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
令和6年度に内水浸水想定区域図及び内水ハザードマップを作成した。		

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全) (重点計画)

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020 (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	北本市



社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	北本市における下水道整備計画2020（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	北本市												
計画の目標	下水道整備を行うことで、安心して安全な災害に強いまちを創造する。 下水道ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の継続的な維持管理を行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	84	A	84	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	污水管きよの耐震対策へ向けた耐震診断実施延長を5.1km(R2)から11.5km(R6)に増加させる。 污水管きよの耐震診断実施率 本整備計画の期間内に耐震診断を完了した管きよの延長（km） / 本整備計画の期間内に耐震診断を実施すべき管きよの延長（6.4km）	0%	50%	100%
2	中丸中継ポンプ場の改築更新実施率を0%(R2)から100%(R6)に増加させる。 中丸中継ポンプ場の改築更新実施率 本整備計画の期間内に改築更新を完了した施設課所数（箇所） / 本整備計画の期間において改築更新が必要とされる施設箇所数（1箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接				（事業箇所）	（延長・面積等）		R02	R03	R04	R05	R06					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	北本市	直接	北本市	管渠（	改築	污水管きよ耐震化事業	污水管きよ耐震診断実施 L=	北本市	■	■	■	■	■	48		策定済		
							汚水)			6,400m											
			総合地震対策計画																		
	A07-002	下水道	一般	北本市	直接	北本市	ポンプ	改築	中丸中継ポンプ場改築工	ポンプ場改築N=1箇所	北本市		■	■	■		36		策定済		
						場		事													
											小計						84				
											合計						84				

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

<p>事後評価の実施体制</p> <p>北本市下水道事業審議会において、事後評価を実施。</p>	<p>事後評価の実施時期</p> <p>令和7年12月</p>	
	<p>公表の方法</p> <p>市のホームページへ掲載</p>	

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中丸中継ポンプ場における改築更新が必要とされる施設として直流電源装置（1箇所）の改築更新を実施した。 ・前期整備計画で概ね主要幹線の耐震診断をし、耐震対策工事を優先的に行いました。次期整備計画において、引き続き耐震診断を実施することとした。 	
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>		

○特記事項（今後の方針等）

中丸中継ポンプ場において、改築更新が必要とされる施設としてポンプ3台及び自動除塵装置の改築更新を実施する。また、北本市下水道総合地震対策計画において、中期対策路線に位置付けられた管路施設について耐震診断を実施していく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	汚水管きよの耐震診断率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%
前期整備計画で概ね主要幹線の耐震診断をし、耐震対策工事を優先的に行いました。次期整備計画において、引き続き耐震診断を実施することとした。		
2	中丸中継ポンプ場の改築更新実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
ポンプ場施設である直流電源装置（1箇所）の改築更新を実施した。		

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

